

私の一番好きな天体

福士 比奈子

小さな頃から夜の空を見上げるのが大好き
でした。中でも冬の夜空は、なぜか特別に好
きでした。

ある日、母は私が冬の星を見るのが好きだ
ということを知って、冬の星座の本を何冊か
買ってきてくれました。その本を見て、私は
何とも言えないシヨックを覚えました。実際
に目で見るよりもはるかに美しく、様々な色
や大きさがあり、その頃星はみんな同じなの
だと思っていた私には、ものすごい衝撃でし
た。

そして、私はその本の中に見つけたのです。
ニページにわたる青白い星々の大きな写真で
した。おうし座のプレアデス星団というもの
でした。それは初めて見る、星が生まれたり、
生まれたばかりの星が、たくさん集まってい
る場所でした。息をのみ、じっと食い入るよ
うに写真を見ていました。

しかし、ふと「この目で見てみたい」と思
 い外へ飛び出しました。本当にこんな星がこ
 の夜空にあるのだろうか。この空で星が生ま
 れたりしているのだろうか。すごく興奮し
 ていました。しかし、その頃の私にはプレア
 デス星団を見つけることはできませんでした。
 後に、私はそれを見つげることができるよう
 になりました。しかし、その見つけたもの
 はあまりにも小さく、写真のような青白い光
 を発しているようには見えませんでした。た
 だ「ごちゃ」と塵のようなものがかたまっ
 てい
 るようにしか、私には見えませんでした。こ
 のギャップに少々絶望しましたが、かえって
 この目であの写真のようなプレアデス星団を
 星の誕生やできたばかりの星を見てみたいと、
 一層強く思うようになりました。

私は今、大学進学を目指しています。私は
 そこで天文学をやりたいと願っています。小
 さな頃、プレアデス星団をはじめとする星達
 から受けた衝撃は、今こうして自分の目標と
 なっています。